

## はじめに

大学で法学を学びたいけれども、どうやって勉強を進めたらいいかわからない……そんな悩みに答えるためにこの本は生まれました。3人の先生とろけっとぼっぼーが、あなたの学び方をサポートします。

### ■本書の構成とオススメの読み方

本書は三つの Part にわかれています。Part 1 では、大学生活において多くの人がつまずく疑問について答えています。3人の先生がそれぞれ回答をしていますので、自分の状況や考え方にあったものはどれかな……と考えながら読んでください。高校生や初学者は、まずは Part 1 から順番に読んでいただくと良いでしょう。

Part 2 では、法学学習のヒントになるような本を集めました。各頁は独立したブックガイドになっています。他の Part とのリンクも張ってありますので、関連する箇所を読みながら本を探すのもオススメです。

Part 3 は、悩みつつ工夫をしている学生の皆さんと先生たちが意見交換をした「特別ゼミ」の記録です。科目の谷間に落ちてしまっただけでなかなか教わる機会がない疑問に、正面から答えた内容になっています。事例も多く取り上げましたので、ぜひ、ご自身でも試してみてください。

### ■本書の狙い

一つの疑問にあえて3人+1羽(+特別ゼミの学生も!)で答えています。それは、「答えは一つではない」世界で、試行錯誤をして欲しいという願いが込められています。皆さんも、自分なりの学び方を、Q&A を通じて探してください。

2019年2月

執筆者一同

# 目 次

## Part1 法学学習 Q&A

### 大学とは

- Q00 大学ってどういうところ？ ..... 2

### 法学とは

- Q01 法学ってそもそも勉強して何の役に立つの？ ..... 6
- Q02 法学科目の勉強を始める前に、  
やっておいたほうがいいことってある？ ..... 10
- Q03 どの科目をどういう順で取ったらいいの？ ..... 14

### 教材・六法

- Q04 教科書もいろいろあるし、六法も種類があるけれど、  
どれを使ったらいいの？ ..... 16
- Q05 教科書や判例集はどの講義でも買うべき？ ..... 20
- Q06 六法って毎年新しいものを買わなきゃいけないの？  
紙の六法は必要？ ..... 22
- Q07 ネットでいろいろな法律の条文や解説が読めるけど……  
勉強に使っていい？ ..... 24

### 授業・自習

- Q08 時間がないけど予習はしなきゃだめ？  
復習とどっちに時間を割くべき？ ..... 26
- Q09 ノートのとり方はどうするのがベスト？  
レジュメがあるならノートはいらない？ ..... 30
- Q10 板書やパワポをスマホで撮っておきたいけど  
やっていい？ ..... 32
- Q11 復習って何をどこまでやればいい？  
参考文献とか見ないといけないの？ ..... 34
- Q12 わからないことを先生に質問してもいいの？ ..... 36
- Q13 定期試験って何が求められてるの？ ..... 38

- Q14 ゼミ(演習)って何をしているの? 入ったほうがいい? ……42
- Q14<sup>+</sup> ……ゼミってどう選んだらいいの? ……46
- Q15 レポートやレジュメはどう書いたらいいの? ……48
- Q16 レポートやゼミの参考に  
Wikipedia やブログを使ってもいい? ……50
- Q17 卒論って何? 卒論は書いたほうがいいのか? ……52
- Q18 法律サークル・自主ゼミってどんなことをしてる?  
どうやったら集められるかな? ……54
- Q18<sup>+</sup> ……とはいっても、学生同士でやって勉強になるの? ……56
- Q19 ゼミは毎回出るべき? 就活を優先して休んでもいい? ……58

---

## Part2 法学学習の「推し本」

---

- いろいろな法学科目を眺めてみよう ……62
- 新書で法学を学んでみよう ……64
- レポートの書き方や思考法を身につけよう ……66
- 「知」の「巨人の肩」に乗り、心を整える方法 ……68
- 法学部生なら知っておきたい! 必携参考書 ……70
- 法学学習の方法を考える ……72
- 演習書のすすめ ……74
- 「一歩先」の学修のために ……76
- 他分野との交錯 ……78
- 異なる法学科目をつなぐ ……80
- 法と社会科学をつなぐ ……82
- 研究者になるには? 学術論文を書いてみよう ……84
- 映画と法 ……86
- 法的な論点のあるフィクション ……88
- 元最高裁判事の回顧録を読んでみよう ……90
- いろいろな進路を考える ……92

ノートテイク

- ◇Q-01 〈授業内ノート〉  
書くのが追いつかない。抜けがあったらどうするの? … 100
- ◇Q-02 〈授業内ノート〉  
どう書き取る? 具体的な方法を教えて! …… 104
- ◇Q-03 〈授業内ノート〉  
手書き以外でノートをとるのって、あり? …… 108
- ◇Q-04 〈授業外ノート〉  
授業外ノートはそもそも作るべき? …… 112
- ◇Q-05 〈授業外ノート〉  
授業外ノートはどのようにして作ればいいのか? …… 116
- ◇Q-06 〈授業外ノート〉  
授業外ノートのレイアウトはどうしたらいい? …… 120

その他

- ◇Q-07 横田先生の学生当時のノートの取り方は? …… 124
- ◇Q-08 判例百選ってどう使ったらいいの? …… 130
- ◇Q-09 答案って何をどこまで書いたらいいの? …… 134
- ◇Q-09<sup>※</sup> One more thing!  
判例を構造的に読んで答案作成の参考にしよう …… 140

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。

## 執筆者紹介

横田 明美 千葉大学准教授

YOKOTA Akemi



法政経学部という社会科学系複合学部での法学系教員として、1年次向け基礎ゼミや3年次以上配当の行政法と環境法、行政法演習などを担当しています。法学部・法科大学院・博士課程院生を経た自分自身の経験と、日々学生から聞いている悩み等をもとに執筆しました。私も試行錯誤のなかで法学学習が楽しくなりました。皆さんも色々と試してくださいね。

小谷 昌子 帝京大学講師

KOTANI Masako



大学では例年、学部1・2年生配当の民法（財産法）の各種科目と、3・4年生配当の医事法、専門演習などを担当しています。半分は教員として、もう半分は元大学生の立場からお答えしたつもりですが、私が学生時代、そして現在お世話になっている先生がたがお読みになったら「どの口がこんなことを」と絶句なさるのではないかと心配です。

堀田 周吾 首都大学東京准教授

HOTTA Shugo



専門は刑訴法です。大学で教え始めてから10年余りの間に、色々な考え方や将来への目標を持った学生と接してきました。法学を学ぶ人の動機は様々ではないですが、それらをすべて包み込んでしまう「懐の深さ」は、法学の魅力の一つではないかと思えます。食わず嫌いにならずに踏み出してみれば、その奥深さと面白さにきっと気付くはずですよ。

## ろけっとぼっぼーと仲間たち



### ろけっとぼっぼー

『ポケット六法』の言い間違えがきっかけとなって誕生した有斐閣の公式キャラクター。ロケットを頭上に冠した鳩です。ロケットの色は、その年の『ポケット六法』の色に合わせて変わります。本書ではQ&Aのまとめコメントを担当しています。



### ホッポー博士

本名ロケットホッポー（フクロウ）。成績優秀。夜に調べものが捗るため、ついつい夜更かししてしまう。



### きよーちゃん

いつもほんわか癒し系のお嬢さん（ウグイス）。あたたかい場所でひなたぼっこするのが大好きで、よく寝る。

Part 1

# 法学学習 Q&A

大学で法学の授業を受けるけれど、  
どうやって勉強を進めたらいいのかわからない……  
という人がよく抱く疑問に、  
3人の先生とろけっとぼっぼーが答えます。  
様々な解答の中から、受ける授業やゼミ、  
自分の学習スタイルや目標に合うものを探してみてください。

\* Q14 + ・ Q18 +は法学教室 451 号別冊付録「法学学習 Q&A」  
を読んだ学生の「もっと聞きたい」に答えた追加項目です。

## Q00

## 大学ってどういうところ？

**大学は「未知の事柄に  
アプローチするための下準備」**

高校等から大学に進学した方には、「答えは一つじゃない」世界へようこそ、と伝えています。実は、小学校～高校までの学習の中には、これまでの人類の「知」の蓄積を効率良く覚えられるように、「答えを一つ」に調整していることがあります（検定教科書という仕組みは、「現時点で正しいとされている事柄」をきちんと伝えるためのものです）。しかし、現実の問題にはいろいろな立場や考え方があり、解決策の組み合わせも無数にあります。その中での「答え」は、与えられたものもないし、「自分の頭で考える」必要がありますよね。このような「未知の問題へのアプローチ」を学ぶ、これが大学という場の意味だと、私自身は考えています。

それでは、自分の頭で考えていけば、どんな答えでも





よいのでしょうか。そうでもありません。「プロなら知って当たり前」とされるような知識や方法を覚えつつ、それらの背景にある考え方や未知の事象に対応するための調べ方も学ぶ必要があります。これを「巨人の肩に乗る」という言い方をすることもあります。研究者にしろ、実務家にしろ、目の前の課題に取り組むときには、これまでの知見で対応できるのか、対応できないならどう考えれば良いのかを考えていくことになります。「自分の頭で考える」というのは、案外、難しいことなんですよ。

……もちろん、この問いへの回答も「答えは一つ」ではないですよ。本書での Q & A を通じて、自分の学び方について考えてもらえれば嬉しいです。

## Q00 大学ってどういうところ？

### 二つの側面があります

みなさんがこれまで培ってきた基礎的な知識や教養を駆使して専門的かつ高度な学習をし、これを卒業後のキャリアに活かす、という流れの中に位置づけられる大学の意義は、卒業後の人生に「役に立つかどうか」という物差しによって測られがちです。ただ、そのような尺度だけで大学を評価するのはあまりにももったいないことです。大学は、各分野に関わる最先端の専門知に触れることのできる場所です。学問の動機は「役に立つかどうか」だけではありません。純粋な知的好奇心（というと身構えてしまうかもしれませんが、“素朴な疑問”でよいのです）に正面から向き合う機会としても、大学生生活を捉えてみてはどうでしょうか。



## 社会のために「知」を生み出し蓄積するところ

変な質問をします。大学って誰のものでしょうか。学生のもの？ それとも、経営者のもの？ そこに所属する職員、教員のものでしょうか。個人的には、そのどれでもなく大学は「社会のもの」だと考えています。

大学には、書籍、設備、人といった物理的なリソースがあり、研究活動により何かを少しずつ明らかにする営みをしています。これらにより大学には「知」が生み出され、「知」が蓄積されるのです。こうした仕組みを社会が有することには、この「知」が産業などの面で役に立つという以上に様々な意味があるのではないのでしょうか。大学にはそういう側面もあることを知っておいていただけたらと思います。



「知」の「巨人の肩」に乗って、  
さらに飛び立とう！



Part2

# 法学学習の 「推し本」

教科書を読むだけでは見つけれない、  
法学の学び方や楽しみ方がわかる本を集めました。  
学ぶ人の目的や悩みに寄り添って、  
先生が内容や読み方を示しつつ、様々な本を紹介します。  
自分を「伸ばす」ための本と出会いませんか？

## いろいろな法学科目を眺めてみよう

➡Q&A Q01・Q03・Q14

法学部ってどんなことを学ぶのだろうか？ 様々な科目を概観したり、どんな課題があるのかを掘り下げる本を紹介しよう。(横田)



### 『法学部生のための選択科目ガイドブック』

君塚正臣 編著

ミネルヴァ書房, 2011年

司法試験の選択科目や関連社会科学についても概観できる

基本7法科目も大事だけれども、むしろ選択科目やゼミのほうが、各人の人生(就職、司法試験の可否など)を決める大事な要素なのではないか——そんな考えを反映した、法学選択科目群のガイド本。具体的イメージを喚起する判例紹介や、文献紹介も充実。法学学習の全体像がつかめるので、ある学部4年生が「もっと早く読んでおけば……」と教えてくれた1冊。



### 『法学の世界〔新版〕』

南野森 編著

日本評論社, 2019年

初心者だけでなく上級者にもオススメ

実定法だけでなく基礎法・比較法も含めた20以上の法分野について、それぞれの第一線で活躍する若手・中堅研究者による解説を集めた本。単なる科目紹介というよりも、その科目の考え方のエッセンスを提示し、読者に問いかける「上級者も楽しめる法学入門」として構成されている。また、外国法についての記述も多く、在外研究についてのコラムもあり、留学や法学研究を進路として考える人にもお勧め。



## 『新・大学生が会う法律問題』

信州大学経法学部 編

創成社, 2016年

### 学生にとって身近な法律問題から法学を学ぼう

美容室でのカット、スポーツ事故、自転車運転、就職と年金、確定申告と源泉徴収、パクリと「目こぼし」文化——本書は、大学生にとっても身近な法律問題を素材に、基本7法＋社会保障法、税法、知的財産法、環境法が概観できる。社会人になってからも役に立つこと請け合いなので、「法学って何の役に立つの?」という人にもお勧め。

Part 2

法学学習の「推し本」

### 📌 こんな本もあります

『キヨミズ准教授の法学入門』 木村草太

星海社新書, 2012年

高校生と大学准教授の交流を描く小説形式で進む法学入門。法的三段論法からローマ法まで図解を交えて説明している。高校生視点での質問に丁寧に応じる先生達と、法学の全体像と歴史と可能性を概観しよう。

『ブリッジブック法学入門〔第2版〕』 南野森 編

信山社, 2013年

法学の基礎から最新トピック（社会保障や著作権保護）までバランスよく編まれた法学入門。立法や裁判の手続フロー図も豊富にあり、初学者の大づかみな理解も助ける。さらには研究の一端も見せてくれる。

Part3

# 法学学習 特別ゼミ

実際に法学を学ぶ学生さんたちに集ってもらい、  
本書の内容を充実させるための特別ゼミを開催して、  
出された意見をまとめました。

法学学習で大切となる「ノートのとり方」を中心に、  
役に立つ多彩なアイデアやアドバイスを集めています。

## 法学学習特別ゼミについて

この Part では、2018 年の夏休みに開催した「特別ゼミ」に参加した学生からの質問と、それに対する学生たちからの回答、そして教員側からのコメントを紹介します。

\* \* \*

この特別ゼミでは、「ノートのとり方をどうしたらよいのだろう？」という疑問に答えるために 14 名の学生に集まっていたきました。そこで、最初は「そもそもノートのとり方のコツは？」という疑問について、横田自身が考えた答え（自分の心の中にあるちょっとした疑問〈内なる声〉もメモをとろう）を説明した上で、前半は教員 3 人がそれぞれ異なるタイプの模擬講義を行い、実際にノートを取りながら試していただきました。

横田：環境法第 1 回模擬講義 [レジュメを配布]

小谷：医事法の視点から「タトゥー事件第一審判決」の解説講義  
[レジュメのほか、医師法の条文、判決文を配布]

堀田：刑事訴訟法の「伝聞法則」について模擬講義 [パワーポイントのスライドを用いて印刷したものを配布]

そして、後半では、3 班に分かれて、まずは 1 人で質問したい項目を書き出し、次に班ごとにノートの作り方についての疑問点をあげ、最後に全体討議で内容を練り上げていきました。

このように、本 Part は具体的に色々な形式・内容の講義を受けてみた上で、自分の考えを「それぞれもくもく」書き出し、「みんなでわいわい」相談しながら練り上げていった、参加学生全員との共善になっています（以上、「内なる声」「それぞれもくもく」「みんなでわいわい」については、『カフェパウゼで法学を』[→ 85 頁] 参照）。以下、その紙面構成を説明します。



## 〈特別ゼミの構成〉 Q01～Q06

学生からの QUESTION



学生目線での質問です。実際の困りごとがどういう  
場面で生じているのかを説明してもらいました。  
あなた自身のノートのとり方と比べてみてください。

みんなの意見

質問に対して、他の学生から「似たような悩み」  
「自分はこうしている」「こういう方法もあるんじゃない？」  
といった意見を出しあいました。



先生からのアドバイス

「みんなの意見」について、先生たちが教員の視点  
から感想を述べたり、追加のアドバイスをしています  
(丸数字は対応関係を示します)。



最後はろけっとほっほーによる、ためにな  
る(かもしれない)まとめだよ～!



## 〈特別ゼミの構成〉 Q07～Q09+

後半（Q07～Q09+）では、特別ゼミで出された質問のなかから、Q01～Q06に分類できないものに対して、口頭で答えた内容を、再構成して紙面に反映しました。（登場する学生と先生は再構成に伴って架空の存在となっています。イラストがちょっと「コスプレ」っぽくなっているのもたぶん気のせい……イメージ画像です！）

\* \* \*

Q07に登場するノート例や判例六法の書き込み例はウェブサポートページでカラー・拡大版の画像を見ることができます。本書を見ながら活用してください。

→ [http://www.yuhikaku.co.jp/static\\_files/QAseminarQ07.pdf](http://www.yuhikaku.co.jp/static_files/QAseminarQ07.pdf)



ノートのとり方にはいろいろなやり方があるので、「誰にでも当てはまる攻略法」はありません。「自分にあっただけの方法は何か？」「あの先生の講義だとやりやすいコツは？」など、いろいろ試してみるためのヒントを探すつもりで読んでくださいね！



## 本書でのノートの分類について

本書では〈授業内ノート〉と〈授業外ノート〉という2パターンのノートを例に挙げて、ノートのとり方・まとめ方を説明しています。ここではそれぞれのノートの分類と役割を確認しておきましょう。

### 〈授業内ノート〉

学生が講義に出席し、授業中にとった記録を本書では広く〈授業内ノート〉と呼んでいます。授業中に板書されたこと、教員が口頭でした説明をノートやルーズリーフに書き込んだものだけでなく、配布資料への書き込み、メモや付箋紙に書いて教科書やレジュメ、ノートなどに貼ったもの、授業中に感じた疑問などを書いたもの、PCで作成した記録などもここに含めます。

また、たとえば、授業中聞き逃したことを基本書などを見て授業時間外に補う作業を経ているものも、〈授業内ノート〉の範疇に入るものとします。

### 〈授業外ノート〉

学生が作成したノート、記録、メモのうち、授業時間以外に作成されたものを〈授業外ノート〉と呼んでいます。たとえば、予習の過程で気になったことや疑問、予習で調べておいたことを書き起こしたものなど、授業の前段階で作成したもの。また、授業後に、授業内ノートや配布資料、参考文献などを参照しつつ作られたまとめノート、定期試験の対策として書かれたノートや答案構成などのノート、さらには各種試験、ゼミ、卒論などを見据えて作成されたノート。これらをまとめて以下では〈授業外ノート〉と呼んでいます。手書きのもの、PCなどで作成したものなど、方法は問いません。

Q 01

〈授業内ノート〉  
 書くのが追いつかない。  
 抜けがあったらどうするの？

学生からの QUESTION



先生の講義を聞いてノートをとっているのですが、配布資料を見たり、教科書や六法を読んだりしていると先生の話を聞き逃してしまうことがあります。そもそも、先生が話すスピードが速いと書けないこともあります。書き取れなかったところはどうしたらいいでしょう？

みんなの意見

■ノートをとるためのアイデア

- ①予習というほどではないけど、六法や教科書も、講義で使う範囲のところを開いておくだけでも違うんじゃないかな？ できれば、あらかじめ講義の範囲だけでも目を通して用語に慣れておくと、音を文字にしやすくなるかも。
- ②全部書き取るのが無理なら、書き取れなかったところを後から補充できるよう、スペースを空けておく。ノートには「き p〇」とか「百〇」（それぞれ教科書〇頁、百選〇事件、〇頁のこと）など省略形で書いておいて、教科書や判例集などで確認して、埋める。
- ③キーワードを書き取る。漢字が分からなくてもひらがなで書き留める。あとでググるなどしても漢字は調べられる。



## 先生からのアドバイス

まずはじめに、この質問が出てくると自体がすばらしい！ 板書されたことだけを書き写すのが「授業内ノート」ではありません。なかなか難しいでしょうが、口頭だけでされた説明も含めて書きとめたものが「ノート」です。ノートをとるための疑問・アイデアがたくさん出されました。

①これは、「予習をどれだけするか問題」[→ Q&A Q08]でもありますね。やはりある程度わかっていることだとノートもとりやすくなることが多いと思います。たとえば「らんよう」と耳で聞いて「濫」の文字がぱっと出てくるだけでもだいぶ書くスピードが違うはず。

②③「速さ」と「見やすさ・美しさ」はトレードオフの関係。授業内ノートについては、ある程度後者を捨てることも場合によっては必要でしょう。

③漢字がわからなくても、ひらがな=音を書き取るのは重要。わかっている言葉でも「義務」「損害賠償」など、画数の多い字は省略する・ひらがなで書くのもアリです。



## みんなの意見

■聞き逃したところはこうしてます

④同じ授業を聴いていた友人に聞いてみる。

⑤講義後に先生に聞く！ ……でも、「聞き逃した」ということで質問してもいいのかな？



④⑤は「王道」の方法。

④これがやれるといいですね！ 聞ける友人がいなければ、友人を作るきっかけにもなるのでは？

⑤どんどん聞いてほしい！ ただし、聞き方に気をつける必要もあるかも。たとえば言葉遣い。「ここなんて言ってました？」ではなく、「すみません、ノートに書き取れなかったうちに次に進んでしまって……」や、「……と理解したのですが、間違いはないですか？」という聞き方がよいかもしれません。また、質問するタイミングの問題も。講義後は疲れていてぞんざいな対応になりがちな先生や、講義前に質問されるのは困るという先生もいます。その場合、オフィス・アワーなどに行くようにしましょう。

また、「どこが」「どのように」わからないのがうまく伝わるよう、ノートや、教科書などの「わからない」ところを持っていくといいと思います。[→ Q&A Q12]



みんなの意見

■こんなアイデアも！

⑥授業中に先生に向かって「わからない」顔をしたり、アイコンタクトで聞き取れなかったことを伝える。

⑦先生が繰り返して述べたところは重要な箇所。そうでないところが書き写せなかったときは諦めちゃう。

⑧講義を録音して、文字起こしソフトにかけて確認する。



⑥このアイディアにはその場にいたほかの学生さんたちも「すごい」と声を上げていました。上級者ですね。わたしたち教員も150人ぐらいの教室なら学生さんの顔を覚えていたりするので、特定の学生さんの反応を見て「あの学生さんがわからなさそうにしているなら……」と説明を足したり、言い方を変えてみたりすることはあります。

⑦たしかに重要なところは意識的に繰り返し話すようにしているので、そういう方法もなくはないかも。でも思い切りがよすぎるなあ……。

⑧著作権関係には気をつけたほうがいいかもしれません [→Q&A Q10]。また、これについては学生さんの間からは「それで勉強になるの？」という声もちらほら……



聞き逃すことはある程度前提として、  
どう補うか工夫することも重要！



Q 07

横田先生の学生当時の  
ノートの取り方は？

①授業内ノートを手書きでとる場合の例

授業のレジュメ

行政法 第10回

抗告訴訟と仮の救済の類型

I 行政事件訴訟法の訴訟類型

1. 抗告訴訟

(1) (2種類) 取消訴訟

(2) 二者関係・多数関係

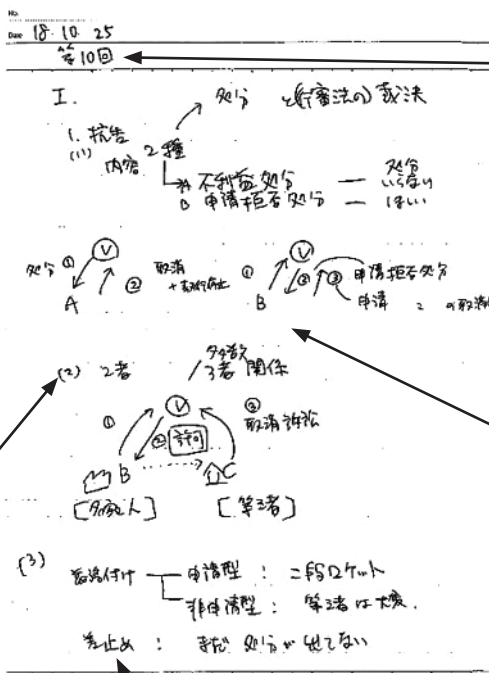
(3) 義務付け・差止め

2. 対応する仮の救済

.....

レジュメへの書き込み  
やPCでノートをとる人も、  
図解だけは手書きノートに  
書き取っておこう。

聞き取れなかったら、  
カタカナでもいいから  
書いておこう！



用語の区分に注目して構造化した  
メモを作ろう。





レジュメとの対応番号と日付は必須。  
詳しいレジュメなら、書き込んでしまう  
のもアリ！

授業後の自学で補充するために、あえて右  
側を空欄にしておいたり、隙間を大きめに  
空けてノートをとっていました。

図解を理解しながらメモしよう！  
順序に①、②を付けておくとわかりやす  
いよ。

授業内ノートは手書きで、  
後の自学で補充していましたよ！



授業後のノートの補充は次の頁で！→

# 法学学習Q&A

Q&A on Studying Law

2019年3月25日 初版第1刷発行

著者 横田明美  
小谷昌子  
堀田周吾

発行者 江草貞治

発行所 株式会社 有斐閣



郵便番号 101-0051  
東京都千代田区神田神保町 2-17  
電話 (03) 3264-1311 [編集]  
(03) 3265-6811 [営業]  
<http://www.yuhikaku.co.jp/>

印刷 株式会社 暁印刷  
製本 牧製本印刷株式会社

©2019, A. Yokota, M. Kotani, S. Hotta. Printed in Japan  
落丁・乱丁本はお取替いたします。

★定価はカバーに表示してあります。

ISBN978-4-641-12609-1

**JCOPY** 本書の無断複写（コピー）は、著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に（一社）出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。